

「公益社団法人 調理技術技能センター編」

平成 28 年度 後期

調理 技術審査 試験学科試験問題
技能検定

(全 6 ページ、60 題)

注 意 事 項

- 1 答案用紙には選択作業名、受験番号、氏名を必ず記入してください。
- 2 試験が始まったら、試験問題のページ数と、問題を確認してください。もし、それらに異常があったら、黙って手を挙げてください。
- 3 試験時間は、1 時間 30 分です。
- 4 解答の方法は、次のとおりです。

(1) 問題文をよく読んで、一つ一つの問題が正しいか、誤っているかを判断してください。

(2) 解答は、必ず答案用紙に記入してください。

右の例に示すように、正しいと判断したものには解答欄の正の字を、誤っていると判断したものには解答欄の誤の字を、それぞれ○で囲んでください。

(3) 正しいか誤っているか分からない場合は、右の例の 3 のように何もつけなくても結構です。

- 5 得点は、正しい解答の数から誤りの解答の数を引いたものとします。
- 6 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の解答に関する質問には、お答えできません。
- 7 制限時間前に解答ができあがっても係員が指示するまで席を立たないでください。
- 8 終了の合図があったら筆記用具をおき、係員の指示に従ってください。
- 9 試験中、手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。

(例)

問題番号	解答欄	
1	⊕	誤
2	正	⊕
3	正	誤
4	⊕	誤
5	正	⊕

(注) この試験問題の著作権は、公益社団法人調理技術技能センターにありますので、取扱いには十分注意してください。

- 1 腸炎ビブリオは、熱に弱い、乾燥や4℃以下の低温に強い、機材の乾燥や冷蔵庫の使用は望ましくない。
- 2 カビは、同じ機能を持つ細胞がひも状につながっており、菌糸を作って増殖する。
- 3 ひらめに寄生するクドア属の寄生虫は、これまで人には無害であるとされてきたが、最近ではクドア・セプテンpunkタータが人に食中毒を起こさせることが報告されている。
- 4 微生物の大きさのうち、ウィルスは、細菌より大きい。
- 5 腸炎ビブリオ食中毒の感染源は、卵や肉類に多い。
- 6 塩分や糖分の高い食品では、水分の一部が結合水の形で存在しているため、微生物はほとんど増殖することが出来ない。
- 7 耐容1日摂取量(TDI)とは、ヒトが食べても24時間以内に健康上の影響が現れないと判断される体重1kgあたりの摂取量である。
- 8 2002年に制定された健康増進法は、栄養の改善だけでなく、国民全般の実態を把握し、その状況に応じた効果的かつ具体的な施策の展開が図れるよう規定を設けたものである。
- 9 ヒトが最も気持ちよく感じる湿度は、40～70%である。
- 10 大気の正常な成分は、およそ酸素78%、窒素21%である。

- 11** 「第3次食育推進基本計画」の期間は、平成28年度から10年間である。
- 12** 胃がんのリスク要因の1つにヘリコバクター・ピロリ菌による感染がある。
- 13** 食肉は、死後硬直後一定期間低温で貯蔵することで、再び柔らかくなり特有の風味がでてくるが、この変化を熟成という。
- 14** キノコ類の乾物には、食物繊維がほとんど含まれていないので、料理では繊維源を補充する必要がある。
- 15** 二つのうま味を呈する物質が存在した場合の混合の味が、それぞれの単独の味より増強されることを対比効果という。
- 16** ヨーグルトは、牛乳や脱脂乳を殺菌・冷却後、乳酸菌を加え発酵させたものである。
- 17** 干しいたけのうま味成分は、グルタミン酸である。
- 18** 小麦は、含まれるたんぱく質の量により強力粉、中力粉、薄力粉に分けられる。
- 19** ナトリウムには、血液凝固作用がある。
- 20** 牛乳を飲むと下痢を起こす乳糖不耐症は、乳糖分解酵素の分泌が不十分なことが原因である。
- 21** ビタミンEは、広い範囲の食品に含まれているため、通常の食事では不足することはない。

- 22 ビタミンB₁は、たんぱく質の代謝に深くかかわっている。
- 23 グリコーゲンは、体内に貯蔵するしくみがない。
- 24 ポリフェノールは、抗酸化作用があり体内で生成する活性酸素の消去作用がある。
- 25 調理師は、免許の取消処分を受けたときには、一ヶ月以内に免許を与えた都道府県知事に免許証を返納しなければならない。
- 26 調理師免許の申請手続きにおいて、麻薬、あへん、大麻又は覚せい剤の中毒者であるかないかの医師による診断書が必要である。
- 27 調理師が現住所を変更したときは、調理師免許証を発行した都道府県知事に免許の再発行を申請する必要がある。
- 28 調理業務で食中毒その他重大な事故を発生させたときは、調理師免許の取り消し処分を受けることがある。
- 29 都道府県知事が行う調理師試験に合格した者は、ただちに調理師と称してよい。
- 30 食品や添加物、器具又は容器包装に関しては、公衆衛生に危害を及ぼすおそれがある虚偽の又は誇大な表示又は広告をしてはならない。
- 31 食品衛生法は、器具や容器包装に関することを規定していない。
- 32 飲食店を営業しようとする者は、厚生労働省令の定めるところにより、保健所長の認可を受けなければならない。

- 33** 食品や食品添加物を輸入する場合、その都度、輸入届出書を都道府県知事に提出しなければならない。
- 34** 食品衛生法において、食品とは全ての飲食物をいい、医薬品や医薬部外品は含まれない。
- 35** 食品衛生法による天然香料とは、動植物から得られたものやその混合物のことをいう。
- 36** 厨房内の通路に棚を設けたいときは、物が取り出しやすいように、1.5メートルほどの高さのところにすればよい。
- 37** 労働者は、事業者その他の関係者が実施する労働災害の防止に関する措置に協力するように努めなければならない。
- 38** 常時労働者が50人以上の事業者は、労働者に対し、心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）を労働者に実施しなければならない。
- 39** 旅館業の事業者は、包丁を使う調理などの作業方法を変更するとき、その作業に起因する危険性を調査し、その結果に基づいて、必要な措置を講ずるように努めなければならない。
- 40** 折りたたみ式の脚立は、脚と水平面との角度を確実に保つための金具等が無いものを使用しなければならない。

- 41 子羊肉とは、生後1年未満の羊肉のことである。
- 42 リ・ド・ヴォー (ris de veau) とは、仔牛ののどから胸にかけての部分から取れる胸腺 (のどしびれ) のことであり、成長するにしたがい大きくなる。
- 43 ブレゼ (braiser)は、密閉し少量の水分で、強火で蒸し煮する調理法である。
- 44 魚の筒切りまたは輪切りにした切り身は、フランス語でダルヌ (darne) と呼ばれている。
- 45 ブーケ・ガルニ(bouquet garni)は、料理に付け合わせた野菜である。
- 46 ポン＝レヴェック (Pont-l'Eveque) は、塩水で繰り返し洗いながら熟成させるウォッシュタイプチーズである。
- 47 ジャンバラヤは、スペインのパエリャからヒントを得たイタリアの代表的な米料理である。
- 48 フュメ・ド・ポワソン (fumet de poisson) とは、牛肉や骨、すねなどと野菜を一緒に煮だしたブイヨン (フュメ) のことである。
- 49 ソース・オランダーズ (sauce hollandaise) は、主に卵黄と澄ませたバターで作るのが基本である。
- 50 フランス料理のポタージュ (potage) は、濃いスープ、クリームスープ、澄んだスープ、野菜のスープ等すべてのスープの総称である。
- 51 レデュクシオン (réduction) は、料理用語でワイン、ソースなどを煮詰めたものである。

- 52 野菜などの切り方で、ジュリエヌヌ (julienne) とは、マッチの軸のように細く切る切り方のことである。
- 53 ケンネ脂は、牛の肝臓の周りについている脂肪である。
- 54 ソース・モルネー (sauce Mornay) は、ソース・ベシャメル (sauce béchamel) に卵黄と生クリームを加えたソースである。
- 55 ラタトゥイユ (Ratatouille) は、ニース生まれでプロヴァンス地方の野菜料理である。
- 56 ブランダド (brandade) は、南フランス地方の干し鱈、生クリーム、ジャガイモを混ぜ合わせた料理である。
- 57 スチームコンベクションオーブンは、ファンを使用し、熱した空気の対流を利用し、更に蒸気発生装置を組み込んだオーブンで、焼く、蒸すの作業ができるが、この焼く、蒸すの作業を同時に行うことはできない。
- 58 ポテトのドフィーヌ風 (Pommes de terre Dauphine) とは、ポテトピュレとシュー生地を混ぜ、丸めて油で揚げたものである。
- 59 リエゾン・ド・フェキュール (liaison de féculé) とは、でんぷんの水溶性のつながぎのことである。
- 60 野菜の切り方で、マセドワーヌ (macédoine) とは、短冊形切りのことである。